

次期改定へ医療費拡大を

医療保険制度改悪阻止、安保健法撤回を決議

第51回通常評議員会

協会は第51回通常評議員会を16日、M&Dホールで開いた。次期診療報酬改定での大幅な引き上げや患者窓口負担の軽減、憲法の理念に基づいた平和を守る運動の推進などを掲げた2015・16年度活動方針案や、15年度予算案、14年度決算案、理事・監事の選出など、すべての議案を可決・承認した。安倍政権が進める医療保険制度改悪法案と安全保障関連法案に反対する決議を採択した。

(次号に評議員会で選出した理事・監事と決議を掲載)

小澤力理事長はあいさつで、政府の社会保障費削減路線や「戦争する国づくり」に言及し、「日本の針路にとって極めて

重要な1年になる」と指摘。「平和と国民生活の安定なくして歯科医療は成り立たない。協会運動へのいっそうの協力をお

願いたい」と訴えた。1号議案「情勢、13・14年度総括、15・16年度方針」を戸井逸美副理事長が提案し、学校歯科治

療調査や歯科技工士アンケートで歯科医療現場の実態を明らかにしたことなどを報告。方針として、医療経営と国民医療を守るために、医療費総額の拡大や窓口負担の軽減に力を尽くすことを強調した。また、大阪市の廃止に反対すると共に、憲法の理念に基づいて平和を守る取り組みを進めるとした。

2号議案「14年度決算報告案」、3号議案「収支差額処理案」、4号議案「15年度予算案」を説明した三井泰正副理事長は、会費・入会金収入が目標を上回ったことを報告した。

1号議案について、「大阪市廃止・分割構想に反対を」(梁川喜舞評議員・大阪市南部地区)、「美島達平評議員・同北部地区」子ども医療費助成拡充の運動を強化すべ

と訴えた。4号議案「15年度予算案」を説明した三井泰正副理事長は、会費・入会金収入が目標を上回ったことを報告した。

1号議案について、「大阪市廃止・分割構想に反対を」(梁川喜舞評議員・大阪市南部地区)、「美島達平評議員・同北部地区」子ども医療費助成拡充の運動を強化すべ

と訴えた。4号議案「15年度予算案」を説明した三井泰正副理事長は、会費・入会金収入が目標を上回ったことを報告した。

理事長に小澤力氏を再任

3回会 第3理事



協会は5月16日に開いた第51回通常評議員会

2015・16年度の理事・監事を選出した。評議員会後に開いた第3回理事会で理事長に小澤力氏を選出、再任した。副理事長に下井昭介、辻本勝、戸井逸美、富本昌之、三井泰正、吉田裕志

各氏を選出した。いずれも再任。

参議院で医療保険制度改悪関連法案が審議入りした13日、協会は理事・役員4人と事務局員が大阪選出の参議議員と同法案の徹底審議と廃案を訴えた。面談した清水忠史衆院議員(共産)に窓口負担軽減を求める請願署名600筆を託した。

同法案には、▽保険料引き上げ▽入院時食事代の自己負担増▽混合診療となる「患者申し出療養」の創設―など国民皆保険制度の根幹を揺るがすメニューが並んでいる。国会内集会では、「年金は下がり、保険料は上がる。どうやって生活する

のか」と同法案への怒りの声や成立阻止を訴える発言が相次いだ。清水議員は、今年度予算で社会保障費3900億円の削減する一方で、

4月16日には理事・役員・事務局員ら合わせて17人が国会へ駆けつけ、同法案の廃案を地元国会議員へ迫った。昨年実施した貧困調査で9割の歯科医院で治療未了患者の存在が確認されたこと

を示し、「これ以上負担が増えれば、歯科にかかれなくなる。絶対に反対してほしい」と訴えた。面談に応じた神谷昇衆院議員(自民)は「生活保護を受けられない人の中に困窮者がいるのかもしれない」と、清水忠史衆院議員(共産)は「国会の外では患者負担増反対が圧倒的多数。同法案の撤回へ全力を尽くす」、辰口孝太郎参院議員(同)は「医療の大改悪を一括で提案すること」に憤りを覚える。廃案に迫

一致でそれぞれ可決した。最後に、政府が進める安全保障関連法案と医療保険制度改悪法案に反対する決議を採択した。

改正によって法的な責任が明記された。歯科衛生士にも歯石除去、薬物塗布時での医療事故においても賠償責任が問われることになる。エラーの発生を少なくする組織づくり、スタッフの研修が必要であると指摘した。今後、病診連携、訪問診療、周術期患者の管理など、有病者への治療が増えるにつれ、それに対応したモニタリングの徹底と医院の安全管理システムの構築がますます重要であると感した講習会だった。終了後、全受講者に修了証を発行した。(住之江区・吉田裕志)



大阪 保険医新聞
5/25
2015年第1203号
(毎月5、15、25日発行)

医療改悪法案ストップへ

参院審議で緊急要請

参議院で医療保険制度改悪関連法案が審議入りした13日、協会は理事・役員4人と事務局員が大阪選出の参議議員と同法案の徹底審議と廃案を訴えた。面談した清水忠史衆院議員(共産)に窓口負担軽減を求める請願署名600筆を託した。

同法案には、▽保険料引き上げ▽入院時食事代の自己負担増▽混合診療となる「患者申し出療養」の創設―など国民皆保険制度の根幹を揺るがすメニューが並んでいる。国会内集会では、「年金は下がり、保険料は上がる。どうやって生活する

のか」と同法案への怒りの声や成立阻止を訴える発言が相次いだ。清水議員は、今年度予算で社会保障費3900億円の削減する一方で、

4月16日には理事・役員・事務局員ら合わせて17人が国会へ駆けつけ、同法案の廃案を地元国会議員へ迫った。昨年実施した貧困調査で9割の歯科医院で治療未了患者の存在が確認されたこと

を示し、「これ以上負担が増えれば、歯科にかかれなくなる。絶対に反対してほしい」と訴えた。面談に応じた神谷昇衆院議員(自民)は「生活保護を受けられない人の中に困窮者がいるのかもしれない」と、清水忠史衆院議員(共産)は「国会の外では患者負担増反対が圧倒的多数。同法案の撤回へ全力を尽くす」、辰口孝太郎参院議員(同)は「医療の大改悪を一括で提案すること」に憤りを覚える。廃案に迫

一致でそれぞれ可決した。最後に、政府が進める安全保障関連法案と医療保険制度改悪法案に反対する決議を採択した。

改正によって法的な責任が明記された。歯科衛生士にも歯石除去、薬物塗布時での医療事故においても賠償責任が問われることになる。エラーの発生を少なくする組織づくり、スタッフの研修が必要であると指摘した。今後、病診連携、訪問診療、周術期患者の管理など、有病者への治療が増えるにつれ、それに対応したモニタリングの徹底と医院の安全管理システムの構築がますます重要であると感した講習会だった。終了後、全受講者に修了証を発行した。(住之江区・吉田裕志)



清水忠史議員との懇談=13日、国会議員会館



外来環の施設基準の届出に対応した研修会=9日、M&Dホール

1号議案について、「大阪市廃止・分割構想に反対を」(梁川喜舞評議員・大阪市南部地区)、「美島達平評議員・同北部地区」子ども医療費助成拡充の運動を強化すべ

と訴えた。4号議案「15年度予算案」を説明した三井泰正副理事長は、会費・入会金収入が目標を上回ったことを報告した。

1号議案について、「大阪市廃止・分割構想に反対を」(梁川喜舞評議員・大阪市南部地区)、「美島達平評議員・同北部地区」子ども医療費助成拡充の運動を強化すべ

外来環研修会に107人

受講者に施設基準の修了証発行

健保研究部は歯科外来診療環境体制加算の施設基準に係る研修会を9日、M&Dホールで開いた。会員107人が参加し、講師を務めた足立了平氏(神戸常盤大学短期大学教授)の話しに耳を傾けた。歯科治療時の偶発症に対する緊急時の対応や医療事故、感染症の対応、医療安全について、歯科治療処置中に起こる気分不良の原因となる血管迷走神経反射と過換気症候群などについては、その場に遭遇した場合、どのように対応するのか、医院のスタッフで知識・技術を共有して足並みをそろえて日々研修することの必要性を説いた。今回、歯科衛生士法の

改正によって法的な責任が明記された。歯科衛生士にも歯石除去、薬物塗布時での医療事故においても賠償責任が問われることになる。エラーの発生を少なくする組織づくり、スタッフの研修が必要であると指摘した。今後、病診連携、訪問診療、周術期患者の管理など、有病者への治療が増えるにつれ、それに対応したモニタリングの徹底と医院の安全管理システムの構築がますます重要であると感した講習会だった。終了後、全受講者に修了証を発行した。(住之江区・吉田裕志)

一致でそれぞれ可決した。最後に、政府が進める安全保障関連法案と医療保険制度改悪法案に反対する決議を採択した。

き(南唯廣評議員・北河内地区)、「歯科衛生士法改定への言及を」(福西啓八評議員・大阪市西成地区)との意見・要望があり、小澤理事長が答弁した。

4号議案に対し、「国会要請行動の参加を一般会員にも呼びかけては」(平野権栄評議員・堺・高石・和泉地区)、「会議資料のペーパーレス化の効果をお願いしたい」

(宇治田竜一評議員・大阪市東部地区)との質問があり、三井副理事長が答弁した。1号議案は指摘部分を修正の上、賛成多数で可決。2〜5号議案は全員

一致でそれぞれ可決した。最後に、政府が進める安全保障関連法案と医療保険制度改悪法案に反対する決議を採択した。

改正によって法的な責任が明記された。歯科衛生士にも歯石除去、薬物塗布時での医療事故においても賠償責任が問われることになる。エラーの発生を少なくする組織づくり、スタッフの研修が必要であると指摘した。今後、病診連携、訪問診療、周術期患者の管理など、有病者への治療が増えるにつれ、それに対応したモニタリングの徹底と医院の安全管理システムの構築がますます重要であると感した講習会だった。終了後、全受講者に修了証を発行した。(住之江区・吉田裕志)

今日の数字
3908億円
今年度の社会保障予算削減額。増税の裏で小泉政権時の「2200億円」を上回る負担増。

歯界
大型連休の間、空港や高速道路の混雑は例年のことだが、街中は静かだった。だが、よく観察すると街の様相には変化があった。特に早朝、カラスが増殖してゴミを荒らしていたのだ。かつて街を支配していた鳩はどうなったのかと心配していたら、歩道橋の上などに領土を奪取していた。